

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社山豊エンジニアリング	階数	地上2F
建設地	京都市南区上鳥羽馬廻25、27-1	構造	S造
用途地域	工業地域、法第22条地域	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年8月1日
敷地面積	2,025㎡	作成者	設計・監理 犖建築事務所 岡田大
建築面積	1,215㎡	確認日	2013年8月6日
延床面積	2,091㎡	確認者	設計・監理 犖建築事務所 岡田大



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.9

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>建築基準法及び、京都市条例を準拠。周囲に工場・事務所・住宅等立ち並ぶ中、前面道路から少し建物を放して配置し、建物の圧迫感を軽減している。東側をガレージ及び搬入出通路とし、広い開放空間を確保しており、建物と敷地の通風・採光に考慮している。</p>	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境 内装材は、F☆☆☆☆を使用。</p>	<p>Q2 サービス性能 社員食堂・休憩室等の空間面積には、十分な広さを確保している。</p>
<p>LR1 エネルギー LED照明を採用。太陽光発電設備を設置。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 躯体、下地、仕上材の分離を行い対応。</p>
	<p>LR3 敷地外環境 従業員の駐輪場と駐車場を敷地内奥に設け、来客用は道路側とし、配置の区別により、交通負荷の抑制に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される